

「子育て世代包括支援センター」がスタートしました



▲相談室でゆっくりとお話をうかがいます

子育て世代包括支援センターとは

市内にお住まいの妊産婦、子育て中の保護者やその家族に対して、子育てに関する様々な情報の提供や相談業務を行います。

妊娠期から子育て期にわたって、母子保健コーディネーターや子育てコンシェルジュが中心となり、保健師・管理栄養士・助産師や関係機関が連携して、切れ目のない支援を行います。

センターの愛称「ぬくもり」に思いを込めて

Nーなんでも話せる場所
Uーうまれるまでの母子の
Kーこころもからだも健康に
Uーうまれたあとの母子を
Mーみんなで
Oー応援します
Rー連絡し合って
Iーいっしょに育もう

開所セレモニーを行いました

10月1日、総合保健福祉センター「かがやき」で、子育て世代包括支援センターの開所セレモニーを行いました。

セレモニーでは、相談室入り口に看板が掲げられた後、綿引副市長から「さらなる子育て支援の充実に向けてスタートを切ることができた」とあいさつがありました。

その後、相談に訪れた保護者は「気軽に相談できる場所があってとても良いと思う。これからも利用したい。」と話していました。

相談室の入り口に看板を設置しました▶



利用案内

場 所：総合保健福祉センター「かがやき」
(常陸大宮市北町388-2)

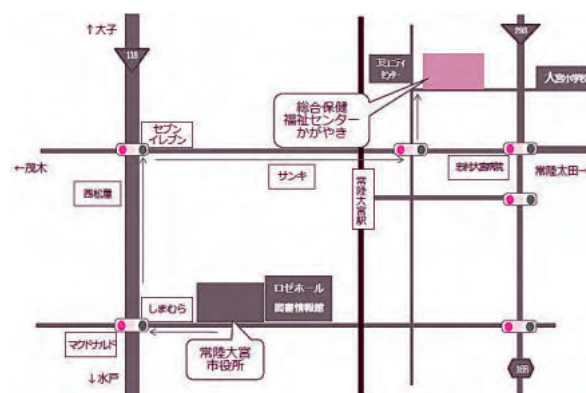
開 設 日：月曜日～金曜日
(土・日・祝日・年末年始はお休み)

開設時間：午前8時30分～午後5時15分

電話番号：0295-58-7780

ホームページ：www.city.hitachiomiya.lg.jp

メールアドレス：hokatsu@city.hitachiomiya.lg.jp



妊娠・出産・子育てに
悩んでいませんか？
私たち4人が全力でサ
ポートします。

左から、及川さん、梶さん(子育てコンシェルジュ)、
青木さん、塩野さん(母子保健コーディネーター)▶



4人にインタビュー

Q：この仕事に就いたきっかけは？



梶 長年保育士などを経験してきて、新しい仕事に挑戦したいという思いがありました。でも保育士は子育てのプロというプレッシャーもあります。



塩野 私も病院勤務が長かったので、新しい場所で経験を活かしたいという気持ちがある。それにいろいろな職種の人が協力し合って支援するというのも良いですね。



及川 私は障がい児支援の仕事をととして保護者と関わっていくうちに、子育て支援事業に携わりたいと考えるようになりました。悩んでいるお母さんの相談に乗りたいと思っています。

青木 私は今年2月に事業所の健康管理の仕事で退職し、ゆっくり仕事を探そうと思っていた矢先にセンターの開設を知り、心が動いたんですね。縁を感じます。



Q：相談を受ける時、心がけていることは？



梶 4人で情報を共有すること。相手の良い所を見つけて相手の気持ちに寄り添っていききたいと思います。



塩野 話しやすい雰囲気作りは大切ですね。



及川 常に聞く姿勢を持って、思いをはきだせる場所というのも大事。

青木 相談室は駆け込み寺のようなもの。気持ちを落ち着かせて、ゆっくり話ができるといいですね。



Q：妊娠・子育て中の保護者へ一言

一人で悩まず、気軽にどんなことでも、まずは一度来てみてください。
良いことは分かち合い、困った時は一緒に考えましょう。お待ちしております。